

審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）

審査会要項（受審者募集）における確認事項

次のことが当てはまる人は
審査会に参加できない。



- ①体温が **37.5 度以上**ある人や **37 度以上あり且つ風邪症状**がある人。
- ②同居家族や身近な知人に感染者、または感染の疑いのある方がいる人。
- ③過去 14 日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人。
- ④**基礎疾患のある人は、あらかじめ主治医に相談のうえ、審査会参加の了解を得てください。**

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人。

- 審査会に申し込む人は、**自己の責任**において当日の審査会に参加するものとする。
- 過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、受審について医師と相談して決める。
- 保護者（家族）同伴で来場した場合、**受審者以外の方は審査会場のある施設内には入場できない**。基本的に**送迎のみ**とする。特別な理由で入場を認める場合でも、発熱や風邪症状がある方の入場は厳禁とする。
(入場者は必ずマスク着用)
- 審査会当日の集合時刻について、要項を熟読して間違いのないように努める。

審査会当日の注意事項

- 着替えは原則自宅^①で済ませておく。やむなく審査会場の更衣室を利用する場合は密を避け、交代で使用する。
- 審査会に参加する時はマスクを必ず着用すること。(外出時から使用)
- 受審者確認票を必ず持参すること。忘れると会場に入れない。

受審者確認票	
登録都道府県名	
氏名	
年齢	
審査当日の体温	
緊急時連絡先電話番号(本人以外の家族等)	
※受審当日に必ず会場にご持参ください	

- 日本剣道形審査において使用する木刀は全剣連で準備します。
- 施設内に入場する者は全員必ずマスクを着用し、私語を慎むように心がける。
- 入場する時も含めて、常にフィジカルディスタンス(他の人との距離)を約2m(最低でも1m)確保する。
- 審査前および審査後に手洗い、うがい、手指のアルコール消毒を行う。できれば足の裏も除菌用ウェットティッシュで拭く。
ごみはビニール袋に入れ密封する。



審査について

※道具の貸し借りは**禁止**

【実技審査】

- 飛沫防止対策用の面を必ず使用する。**面マスク及びシールドを必ず着用**する。
- 面マスク及びシールド**の着用については、**鼻と口を覆い**酸欠にならないように立体的に覆うなど、工夫することが大切である。
(マスクと鼻・口の間少し空間を設けるなど)
- 鏝ぜり合いにならない**ように心がける。
もし、鏝ぜり合いになったら、お互いにすぐに解消する。

【形審査】

- 形審査においては、受審者は**必ずマスクを着用**する。
- 日本剣道形審査において使用する**木刀は全剣連で準備**します。



運営上の留意事項

- 審査会当日、係員は必ずフェイスガード、マスクを着用する。
- 施設に入場する時に、申込者名簿により**入場者の検温**を実施する。
- 受付**で受審者が密集して並ばないように、**約 2m 間隔**で床にテープを貼って距離を保つようにする。
- 会場内の**入口と出口**を明確に**分ける**。出入口の数をある程度限定する。
- 施設内の数か所に**アルコール消毒液**を設置する。
- 人が触れる所（ドアノブなど）は**定期的**に**アルコール消毒**する。



- 受審者は**観覧席を控え場所**として使用する。観覧席が密にならないように、**一つ置き**に使用する。
- 熱中症にも気を付ける。
- 会場内の**室温、換気には充分注意**する。



- 審査会には必ず救護係（医療関係者）を配置する。
- 形審査は、組数を増やして全体を短時間で終わるようにする。
- 実技審査において、会場数を増やして受審者の密集する待ち時間を短くする。
- 合格発表はまとめて実施するのではなく、人数を区切って何度も行う。



※審査会実施要項に準じて開催する。

